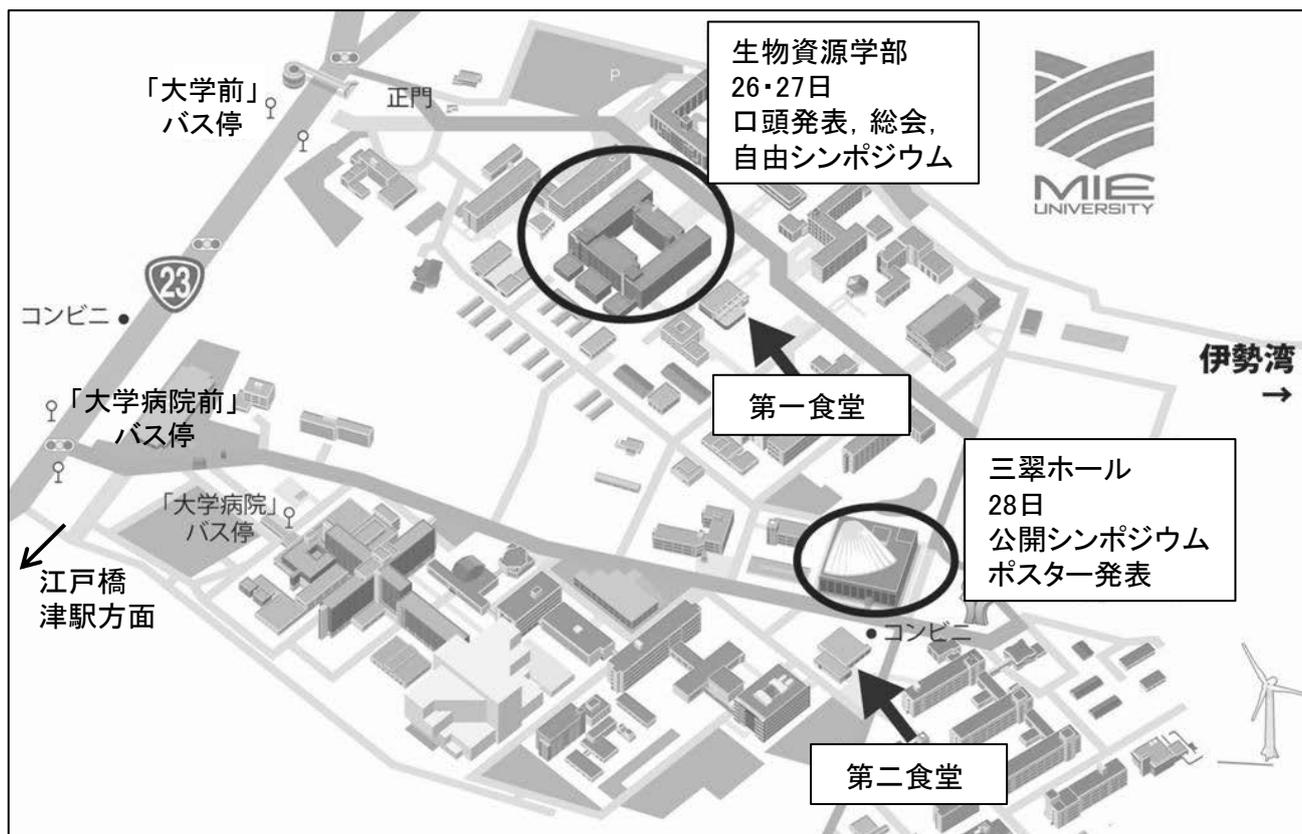


日 程								
3月	口頭発表会場					賛助会員 展示会場 2F広場	ポスター発表会場 三翠ホール	
	A会場 217講義室	B会場 206講義室	C会場 218講義室	D会場 211講義室	E会場 220講義室			
26日	8:30	受 付						
	9:00	評議員会						
	12:00							
	13:00	口頭発表 101-109	口頭発表 301-309	口頭発表 401-409	口頭発表 601-607	口頭発表 701-705 501-504	賛助会員 展 示	
	14:45							
	15:15							
	15:30	総会・学会賞授与式・受賞講演・名誉会員推挙(218講義室(大講義室))						
		総会 学会賞授与式 受賞講演 日本草地学会賞 「寒地栽培限界地帯向き飼料用品種「ぱびりか」「たちびりか」の育成および狭畦交互条播栽培等安定生産技術の開発」 北海道農業研究センター・道立根釧農業試験場 寒地向き飼料用トウモロコシ育種グループ 日本草地学会研究奨励賞 「ペレニアルライグラス草地の窒素施肥法と採草利用時の生育・飼料特性に関する研究」 岡元 英樹 「放牧草地における草地生態学的評価手法の開発」 堤 道生 名誉会員推挙 菅原 和夫 会員						
	17:50							
	18:40	懇親会(津 都ホテル)						
20:30								
27日	9:00	口頭発表 201-212	口頭発表 310-319	口頭発表 410-421	口頭発表 608-616	口頭発表 801-809	賛助会員 展 示	
	11:15/30							
	12:00							
	12:10	企画委員会	草地学用語委員会	和文誌・英文誌合同編集委員会	国際情報担当委員会	草地学教育委員会		
	13:10							
	14:55	口頭発表 213-215 810-815 (シニア会員)	口頭発表 320-327	口頭発表 422-429	口頭発表 617-623			
	15:10							
	15:30		自由シンポ1 「生物多様性と半自然草地－成立と維持に向けた戦略」	自由シンポ2 「我が国の水田裏作における飼料生産の展望」	自由シンポ3 「草地の生態系サービス」	自由シンポ4 「内蒙古砂漠化／退行草原の研究－草、土、家畜の研究の融合」		
17:30								
19:30					自由シンポ5 「草地学は海外でどのように利用されているか？」			
28日	8:30	公開シンポジウム受付(三翠ホール)						ポスター 貼り付け
	9:00	公開シンポジウム テーマ: 草地の恵みと地域再生 映像による牧場紹介－命のなかの食べ物を知ろう－ 熊本阿蘇の褐毛放牧の一年 神津牧場の乳牛の一年						
		講演 秦 寛 氏(北海道大学北方生物圏フィールド科学サイエンスセンター) 高橋 佳孝 氏(近畿中国四国農業研究センター)						
	11:15							
	13:00	三重県下農業高校生による研究発表会						
13:45	ポスター発表、消費者・高校生・研究者との交流会 ポスター発表(※)、消費者・高校生・研究者との交流会 農産物即売会							
16:45								
29日	9:00	現地見学会						
	15:00	肉牛生産農家、三重県畜産研究所を予定						

※奇数番号ポスターの発表者は14:00～14:30、偶数番号では15:00～15:30にポスターの内容を説明する

## ■ キャンパス内案内図



## ■ 三重大学へのアクセス

### 【津駅から】

1. 津駅東口バスのりば「4番」から三交バスで約15分。  
「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)「豊里ネオポリス」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)行きで、「大学前」で下車。  
(28日の三翠ホールへは「大学病院前」で下車が便利。)
2. タクシーで約10分。

### 【江戸橋駅から】

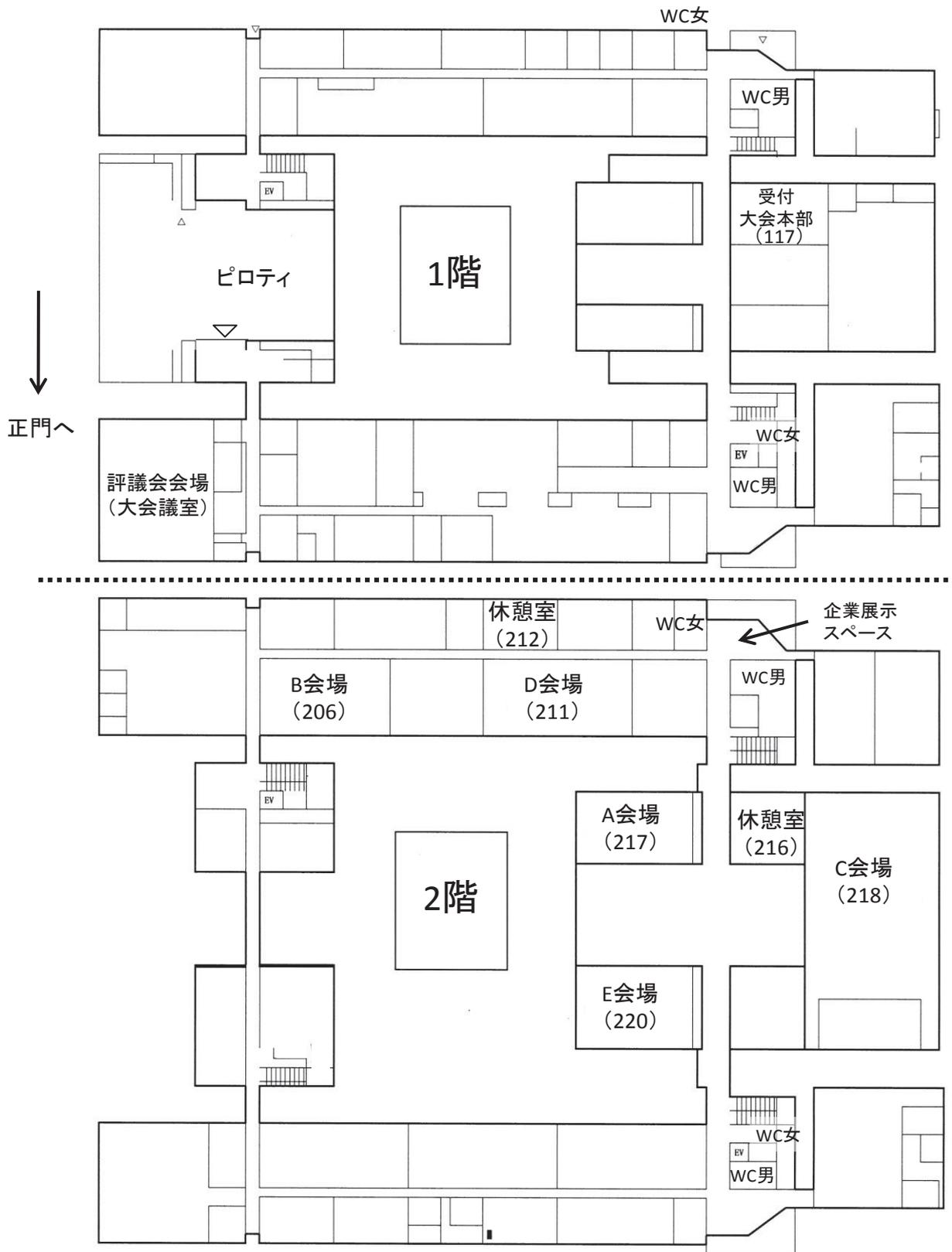
近鉄江戸橋駅(三重大学前)から徒歩で約15分。

### 【中部国際空港(セントレア)から】

津エアポートラインで津なぎさまちへ40分。

1. 「津なぎさまち」から三交バスで津駅まで約15分。
2. 「津なぎさまち」からタクシーで津駅まで約10分。

## ■会場案内図(三重大学生物資源学部)



口頭発表プログラム 3月26日

A会場 (217講義室)		B会場 (206講義室)	
座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境	座長	3. 放牧・家畜管理・行動
13:00	板野志郎 101 種数と種構成の空間的不均一性: 寧夏乾燥地草原植生データを使って ○塩見正衛1・陳俊2・安田泰輔3・堀良通1・山村靖夫1・中野隆志3・程積民4・呼天明2(1茨城大学、2西北農林科技大学、3山梨環境科学研究所、4中国科学院水利部水土保持研究所)	13:00	池田堅太郎 301 大規模草地における精密放牧システムの構築 (8) 航空機CASIハイパースペクトル画像による草量と草質の面的分布推定 ○川村健介1・渡辺也恭2・坂上清一2・李孝鎮1・小田川信哉3(1広島大・院・国際、2北海道農業研究センター、3ERSDAC)
13:15	102 寧夏乾燥地草原の禁牧環境下における群落動態 ○安田泰輔1・塩見正衛2・陳俊3・程積民4・呼天明3・中野隆志1・山村靖夫2・堀良通2(1山梨県環境科学研究所、2茨城大学、3西北農林科技大学、4中国科学院水利部水土保持研究所)	13:15	302 大規模草地における精密放牧システムの構築 (9) 遺伝的アルゴリズムを用いた波長選択型PLSによる草ミネラル成分の推定 ○溝口諒1・吉利怜奈1・李孝鎮2・川村健介2・渡辺也恭3・坂上清一3(1広島大・生物生産、2広島大・院・国際、3北海道農業研究センター)
13:30	103 寧夏乾燥草原における休牧年数(0~15年)の差異が植生に与える効果 陳俊1・程積民2・呼天明1・堀良通3・山村靖夫3・安田泰輔4・中野隆志4・○塩見正衛3(1西北農林科技大学、2中科院水利部水土保持研究所、3茨城大学、4山梨県環境科学研究所)	13:30	303 Precision farming system on extensive pasture 10. Estimating spatial distributions of pasture mass and quality from field hyperspectral measurements with geostatistical analysis ○Hyo-Jin, Lee1, Kensuke Kawamura1, Nariyasu Watanabe2, Seiichi Sakanoue2 Nobukazu Nakagoshi1 (1 Graduate School for International Development and Cooperation, Hiroshima University; 2 National Agricultural Research Center for Hokkaido Region)
13:45	小倉振一郎 104 ヤクの季節放牧休牧利用方式がチベット高原高山野草地植物種多様性に及ぼす影響 ○曹旭敏1・長谷川信美1・宋仁徳2・李国梅3(1宮崎大学、2中国青海省玉樹畜牧獣医センター、3中国青海省玉樹草原センター)	13:45	須藤賢司 304 大規模草地における精密放牧システムの構築 (11) GPSを利用した牛群の空間分布の把握: 2007年の例 ○吉利怜奈1・渡辺也恭2・川村健介3・溝口諒1・李孝鎮3・坂上清一2(1広島大・生物生産、2北海道農業研究センター、3広島大・院・国際)
14:00	105刈払い時期の違いが次年度のクマイザサ再生に及ぼす影響 ○小路敦(北海道農業研究センター)	14:00	305 放牧地における腔内温度測定システムを利用した肉用牛の発情発見 ○後藤裕司・玉井光成・鈴木徳彦・池田哲也(畜産草地研究所)
14:15	106クマイザサ草地への高栄養牧草の簡易導入可能性の検討 ○小路敦(北海道農業研究センター)	14:15	306 長野県における公共牧場の現状と問題点 ○寺田直哉1・中山恵2・小林和夫・菅澤勉3・桜井多美子3・竹田謙一(1信州大農、2長野県伊那家畜保健衛生所、3長野県農業総合試験場)
14:30	義平大樹 107 静岡県安倍川流域におけるイタリアンライグラスのエンドファイト感染個体率および垂直伝播効率 ○戸村和貴・丸山啓輔・山下雅幸・澤田均(静岡大学農学部)	14:30	川村健介 307 ブタ放牧跡地の植生および土壌動物相について ○大竹秀男1・鈴木悠里1・小倉振一郎2・田中繁史2・佐藤衆介2(1宮城大学食産業学部、2東北大学大学院農学研究科)
14:45	108 静岡県中遠地域で耕地雑草化したライグラス類集団のSSR多型 ○飛奈宏幸・池田六洋・山下雅幸・澤田均(静岡大学農学部)	14:45	308 モンゴル国森林ステップの放牧におけるヒツジの採食量および増体 ○進藤和政1・山崎正史1・下田勝久2・鳥山和伸1・平野聡1・Baasanjalbuu B. 3(1国際農林水産業研究センター、2畜産草地研究所、3モンゴル国立農業大学)
15:00	109 水田における飼料作物の温室効果ガス・フラックスのモニタリング ○井上直人・加藤太・春日重光・宇佐美早紀(信州大学農学部)	15:00	309 モンゴル国森林ステップを対象にした植生-家畜生産モデルの試作 ○進藤和政1・山崎正史1・下田勝久2・鳥山和伸1・平野聡1・Baasanjalbuu B. 3(1国際農林水産業研究センター、2畜産草地研究所、3モンゴル国立農業大学)
15:15		15:15	

【口頭発表について】

講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。

**時間厳守をお願いします。**

またプロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月26日

C会場 (218講義室)			D会場 (211講義室)		
	座長	4.飼料調製加工・貯蔵・利用		座長	6.育種
13:00			13:00	藤森雅博	601 ソルガム類の市販品種における踏圧耐性の評価 大谷津明子1・○春日重光1・今井康平1・樋口奈保子1・吉澤遥平1・清沢敦志2・後藤和美2(1信州大学農学部、2長野県畜産試験場)
13:15	蔡義民	401 イタリアンライグラスサイレージの貯蔵および好気的変敗過程における微生物フローラの変化 ○李 雁氷・西野直樹(岡山大学大学院自然科学研究科)	13:15		602 2倍体ハイブリッドライグラス系統の耐雪性 ○久保田明人・秋山征夫・上山泰史(東北農業研究センター)
13:30		402 国内で流通する発酵TMRの微生物フローラ サワードゥと共通する多様なヘテロ発酵型乳酸菌の存在 ○王 超・西野直樹(岡山大学大学院自然科学研究科)	13:30		603 オーチャードグラス耐旱・耐暑性幼苗選抜系統の圃場での特性とこの幼苗選抜を利用した育種システム ○内山和宏1・水野和彦1・荒川 明1・川口 優2・早坂邦昭*3・大浦康子2(1畜産草地研究所、2家畜改良センター熊本牧場、*現 家畜改良センター茨城牧場長野支場)
13:45	馬場帆美	403 <i>Lactobacillus plantarum</i> および <i>Lactobacillus brevis</i> を添加したサイレージの微生物フローラ Parvin Suraya・王 超・李 雁氷・○西野直樹(岡大自然科学研究科)	13:45		604 ソルガム×スーダングラスのF2集団における再生性の評価 ○市川悦子1・春日重光1・樋口奈保子・今井康平1・大谷津明子1・吉澤遥平1大原圭祐1・次井千裕1・山下泰裕1・若子由佳里1・米丸淳一2(1信州大学農学部、2農業生物資源研究所)
14:00		404 トウモロコシサイレージの好気的変敗に対する <i>Acetobacter pasteurianus</i> の添加効果 ○韓 紅燕・西野直樹(岡山大学大学院自然科学研究科)	14:00	平田球子	605 宿主由来の遺伝子のみによる除草剤耐性組換えトウモロコシ自殖系統の作出 ○高溝 正1・堀田順子2・角康一郎2・清水力2・石田祐二3(1畜産草地研究所、2クミアイ化学生物科学研究所、3JT植物イノベーションセンター)
14:15	西野直樹	405 テモシー・オーチャードグラス混播牧草由来乳酸菌の性状とその多様性 ○遠野雅徳・小林寿美・虎 会利・曹 陽・上垣隆一・蔡義民(畜産草地研究所)	14:15		606 寒地向きサイレージ用トウモロコシ新旧品種間における推定TDN収量および各種形質にみられた品種間差異と形質間相関 ○齋藤修平・濃沼圭一・伊東栄作・小松敏憲(北海道農業研究センター)
14:30		406 イタリアンライグラスサイレージから分離したClostridiaの生理・生化学的性質と16S rDNA塩基配列解析による菌種同定 ○小林寿美1・上垣隆一2・遠野雅徳2・金谷千津子3・岡島毅4・高田良三4・蔡 義民2(1新潟大院自然研、2畜草研、3富山県農林水産技術総合センター、4新潟大農)	14:30		607 プロファイリングによる温暖地向きトウモロコシ親系統の系列分け ○村木正則1・榎 宏征2・才 宏偉3・湯山奈々3・小松敏憲2(1九州沖縄農業研究センター、2北海道農業研究センター、3日本草地畜産種子協会)
14:45		407 生稲わら収穫調製、サイレージ発酵品質およびβ-カロテンとα-トコフェロール含量 ○馬場未帆1・吉野賢一1・蔡 義民2・上垣隆一2・川出哲生3・橋 保宏3・志藤博克(1埼玉県農林総合研究センター、2畜産草地研究所、3生研センター)	14:45		
15:00		408 カンショくずを含む発酵混合飼料の越冬放牧牛と育成牛への給与効果(予報) ○飛岡久弥1・川野知美1・木下正徳2・松岡昭3・松浦茂4・稲岡広行5(1東海大学農学部、2大分農林水産研畜産、3マルキン食品(株)、4松合食品(株)、5ダイヤセルファインケム(株))	15:00		
15:15			15:15		

【口頭発表について】

講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。

**時間厳守をお願いします。**

またプロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月26日		
E会場 (220講義室)		
	座長	7.土壌・肥料
13:00	井上直人	701 異なる土壌水分条件での耐湿性草種の生育の違い ○山田大吾1・堤道生2・佐々木寛幸1(1畜産草地研究所, 2近畿中国四国農業研究センター)
13:15		702 アーバスキュラー菌根菌の接種およびリンの施用がセンチピードグラスの生長に及ぼす影響 ○飛佐学・内田義規・平田昌彦(宮崎大学農学部)
13:30		703 メタン発酵消化液の施用がシバの生産性に及ぼす影響:4年間の結果 ○飛佐学・浅野陽樹・霧村雅昭・岡本侑記・築山忠司・岩佐秀一・杉本安寛・平田昌彦(宮崎大学農学部)
13:45	山田大吾	704 異なる飼料給与が牛糞の組成および堆肥の腐熟化に及ぼす影響 ○梶谷祐介1・井戸田幸子2・石井康之2・福山喜一2(1宮崎大学大学院農学研究科、2宮崎大学農学部)
14:00		705 北海道東部の育成牛放牧草地に対する新たな標準施肥量の検証事例 ○三枝俊哉・西道由紀子・戸苅哲郎(道立根釧農試)
14:15	5.生理・形態・病理・昆虫	
		501 どうもろこし雄穂形態に異常をもたらす気温とその持続期間 ○林拓・牧野司・出口健三郎(北海道立根釧農業試験場)
14:30	菅原幸哉	502 ミミズが堆肥に放出するフォスファターゼの特性 ○山本紳朗・嵯峨由敬・岡田拓也(帯広畜産大)
14:45		503 オオミズゴケ( <i>Sphagnum palustre</i> L.)の生育及びリン酸吸収に関する研究 ○瀬戸山央1・竹内彩子3・根本正之2・前田良之1、3(1東京農業大学農芸化学専攻、2東京農業大学地域環境科学部、3東京農業大学応用生物科学部)
15:00		504 サイレージ用トウモロコシF1におけるかび毒含量の品種間差異と年次変動 ○三木一嘉1・江原靖博1・岡部郁子2・月星隆雄2(1長野県野菜花き試験場、2畜産草地研究所)
15:15		
<p>【口頭発表について】 講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。 <b>時間厳守をお願いします。</b> またプロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>		

口頭発表プログラム 3月27日

A会場 (217講義室)		B会場 (206講義室)	
座長	2.造成・管理・栽培	座長	3.放牧・家畜管理・行動
9:00 下條雅敬	<b>201</b> アカクローバを組合せたガレガ・チモシー混播草地の安定造成 4. 利用4年間のマメ科率の推移 ○奥村健治・高田寛之・松村哲夫・廣井清貞(北海道農業研究センター)	9:00 福田栄紀	<b>310</b> 広大な林内放牧地に造成した集畜草地の植生、生産量と利用率 ○山本嘉人1・出口善隆2・塚田英晴1・佐藤衆介3・北川美弥1・西田智子4・寺田 裕5・的場和弘1・池田堅太郎6・佐藤真7・平野 清1(1畜産草地研究所、2岩手大学、3東北大学、4農業環境技術研究所、5動物衛生研究所、6東北農業研究センター、7岩手県)
9:15	<b>202</b> 南九州離島への矮性ネピアグラスと暖地型マメ科牧草導入の試み ○石井康之1・竹下綾美1・山野明日香1・森康太郎1・日高真吾2・西村直人3・井戸田幸子1(1宮崎大農、2三島村経済課、3鹿児島地域振興局農政普及課)	9:15	<b>311</b> TMR給与時刻と栄養価が放牧搾乳牛の食草量に及ぼす影響 ○須藤賢司・秋山典昭・朝隈貞樹・上田靖子・渡邊也恭・山崎武志(北海道農業研究センター)
9:30	<b>203</b> Development of nursery production and mechanical transplanting methods in dwarf napiergrass ○Renny Fatmyah Utamy1, Yasuyuki Ishii2, Sachiko Idota2, Lizah Khairani3 and Kiichi Fukuyama2 (Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering, University of Miyazaki (UM), 2 Faculty of Agriculture, UM; 3Graduate School of Agriculture, UM)	9:30	<b>312</b> 様々な管理放棄地に放牧したウシ、ヒツジ、ヤギの食草選択性の比較 ○三上雅史・安江 健・松澤安夫・小針大助(茨城大学農学部)
9:45 小路敦	<b>204</b> Nursery production and dry matter productivity in six genotypes of napiergrass as biomass production in Southern Kyushu ○Lizah Khairani1, Yasuyuki Ishii2, Sachiko Idota2, Renny Fatmyah Utamy3, Asuka Yamano2 and Aya Nishiwaki2 (1Graduate School of Agriculture, University of Miyazaki (UM); 2Faculty of Agriculture, UM; 3Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering, UM)	9:45 東山雅一	<b>313</b> 採食時顎運動による放牧牛の採食速度の解析 ○谷 幸宗1・八代田真人1・大谷 滋1(1岐阜大学 応用生物科学部)
10:00	<b>205</b> 南九州におけるパヒアグラス新品種Tifton-9の季節生産性と定着 ○森康太郎1・石井康之1・竹下綾美1・山野明日香1・室原盛也2・新美光弘1・川村 修1・三田村強3(1宮崎大農、2(独)家畜改良センター宮崎牧場、3(社)日本草地畜産種子協会)	10:00	<b>314</b> 連結された2つの草地に放牧される黒毛和種牛の入牧、退牧および草地間のスイッチング時における移動順位(1): 移動順位の類似性 ○武富郁子・平田昌彦・飛佐 学(宮崎大学農学部)
10:15	<b>206</b> チガヤ種子の発芽・定着の阻害要因について ○吉原光彩・西脇亜也(宮崎大学農学研究科)	10:15	<b>315</b> 連結された2つの草地に放牧される黒毛和種牛の入牧、退牧および草地間のスイッチング時における移動順位(2): 移動順位のランダム性と齢の影響 ○武富郁子・平田昌彦・飛佐 学(宮崎大学農学部)
10:30 高橋俊	<b>207</b> 北関東におけるセンチピードグラス草地への施肥が生産性に及ぼす影響 ○平野 清・山本嘉人・北川美弥(畜産草地研究所)	10:30 岡本智伸	<b>316</b> ノイバラバッチが放牧地内の木本雑樹の分布と植生遷移に及ぼす影響 ○福田栄紀(東北農研)
10:45	<b>208</b> 採草用越夏性ライグラス品種の適応性 ○上山泰史1・門馬和枝2・菊地直子3(1東北農業研究センター、2相双農林事務所、3宮古農業改良普及センター)	10:45	<b>317</b> ススキ優占草地における非破壊的バイオマス推定法の提案 ○富松 元・小倉振一郎(東北大学大学院農学研究科)
11:00	<b>209</b> シロクローバのリピングマルチによる有機栽培がトウモロコシの収量に及ぼす影響 ○出口 新・魚住 順・金子 真・嶮野英子(東北農業研究センター)	11:00	<b>318</b> 植物量の減少にともなう野草地放牧牛の植物種選択性の変化 ○富松 元・横山美沙・小倉振一郎(東北大学大学院農学研究科)
11:15 菅野勉	<b>210</b> 神奈川県におけるトウモロコシ二期作栽培体系の検討 ○折原健太郎(神奈川県畜産技術センター)	11:15	<b>319</b> トールフェスクとパヒアグラスが混在する方牧草地における黒毛和種繁殖雌牛の食草行動 ○黒川勇三・川村健介(広島大学)
11:30	<b>211</b> 早播きサイレージ用トウモロコシの最適播種粒数 ○東 政則1・岩見豪士・立山松男1・中原高士1・須崎哲也2(1宮崎県畜産試験場、2宮崎県営農支援課)	11:30	
11:45	<b>212</b> トウモロコシ子実収量におよぼす品種の早晩性と密度の影響 ○江原靖博・三木一嘉(長野県野菜花き試験場)	11:45	
12:00		12:00	

【口頭発表について】  
講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。  
**時間厳守をお願いします。**  
またプロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月27日

C会場 (218講義室)		D会場 (211講義室)	
座長	4.飼料調製加工・貯蔵・利用	座長	6.育種
9:00	<p><b>金谷千津子</b></p> <p><b>409</b> アイコーンサイレージの消化性と乳牛の嗜好性                      ○大下友子1・大津英子1・中西雅昭2・滑川拓朗3・高田雅透4・岩淵 慶5・西浦明子6・青木真理1・上田靖子1・高橋 俊1(1北農研センター、2バイオアグリブリティジャパン(株)、3家畜改良センター十勝牧場、4(株)Hスター、5ホクレン農業協同組合連合会、6畜草研)</p>	9:00	<p><b>廣井貞</b></p> <p><b>608</b> ゲノミック <i>in situ</i> ハイブリダイゼーション(GISH)法および画像解析法を用いたフェストロリウムにおける異種ゲノム構成率算出法の開発                      ○秋山征夫1・久保田明人1・山田-秋山仁美2・上山泰史1(1東北農業研究センター、2岩手大学)</p>
9:15	<p><b>410</b> 飼料米を利用したロール発酵TMRの飼料特性と乳生産性                      ○澤口和宏1・瀬山智博2・寺井智子3・武内徹郎1・中井文徳1(1徳島県立農林水産総合技術支援センター、2大阪府環境農林水産総合研究所、3愛媛県農林水産研究所畜産研究センター)</p>	9:15	<p><b>609</b> 次世代シーケンサーを用いた種属間比較トランスクリプトーム解析                      ○米丸淳一1・田村健一2(1農業生物資源研究所、2北海道農業研究センター)</p>
9:30	<p><b>411</b> 乳牛用飼料としての飼料用玄米への加工処理方法の違いが栄養価に及ぼす影響                      ○関 誠1・小橋有里1・島津是之1・高橋英太2・野中和久1(1新潟県農業総合研究所畜産研究センター、2畜産草地研究所)</p>	9:30	<p><b>610</b> チモシーの栄養価における1番草と2番草の関係ならびに2番草の年次変動                      ○足利和紀1・藤井弘毅1・田中常喜1・玉置宏之2・佐藤公一3・出口健三郎4・飯田憲司2(1北海道立北見農業試験場、2北海道立畜産試験場、3北海道立上川農業試験場天北支場、4北海道立根釧農業試験場)</p>
9:45	<p><b>412</b> アンモニア処理した飼料イネサイレージ風乾物の栄養価                      ○一戸俊義1・新出昭吾2(1島根大学生物資源科学部、2広島県立総合技術研 畜産技術センター)</p>	9:45	<p><b>小林真</b></p> <p><b>611</b> 高糖性に関するRIL(F5世代)の特性評価                      ○春日重光1・今井康平1・大谷津明子1・樋口奈保子1・吉澤遥平1・岡部 蘭子1(1信州大学農学部)</p>
10:00	<p><b>大下友子</b></p> <p><b>413</b> 小麦ホールクロップおよび小麦わらサイレージの発酵品質と <i>in vitro</i> ルーメン内における分解特性                      ○石崎雄介1・磯和祐太1・川原田直也2・川村淳也3・鈴木令央奈2・平岡啓司3・前橋善浩2・神田幸英4・松井宏樹1・刈田修一1・後藤正和1・藤原 勉1・近藤 誠1(1三重大大学生物資源学部、2三重県中央農業改良普及センター、3三重県畜産研究所、4三重県農業研究所)</p>	10:00	<p><b>612</b> 栽植密度がソルガムの茎中ブリティクス糖度に及ぼす影響                      ○大原圭祐1・春日重光1・今井康平1・大谷津明子1・樋口奈保子1・吉澤遥平1・市川悦子1・次井千裕1・山下泰裕1・若子由佳里1・清沢敦志2・後藤和美2(1信州大学農学部、2長野県畜産試験場)</p>
10:15	<p><b>414</b> 生稲わらサイレージや生米ぬかを混合した発酵TMRの肥育中・後期への給与が黒毛和種去勢牛の肥育成績におよぼす影響                      ○高平寧子1・金谷千津子1・吉野英治1・廣瀬富雄1・丸山富美子1(富山県農林水産総合技術センター畜産研究所)</p>	10:15	<p><b>613</b> 紫斑点病の罹病がソルガムの茎中ブリティクス糖度に及ぼす影響                      ○次井千裕1・春日重光1・今井康平1・大谷津明子1・樋口奈保子1・吉澤遥平1・市川悦子1・大原圭祐1・山下泰裕1・若子由佳里1・清沢敦志2・後藤和美2(1信州大学農学部、2長野県畜産試験場)</p>
10:30	<p><b>415</b> 生稲わらのβ-カロテン・α-トコフェロール含量と予乾やサイレージ調製による変化                      ○金谷千津子1・高平寧子1・吉野英治1・清水雅代1・廣瀬富雄1・丸山富美子1(富山県農林水産総合技術センター)</p>	10:30	<p><b>村木正則</b></p> <p><b>614</b> 後代検定を用いた冠冠び病抵抗性遺伝子をホモに持つライグラス系統の育成                      ○荒川 明1・清 多佳子1・早坂邦昭2・古谷明彦2・藤岡洋子3・藤森雅博3(1畜産草地研究所、2家畜改良センター、3山梨県酪農試験場)</p>
10:45	<p><b>416</b> チモシー生草におけるめん羊の自由採食量と <i>in vitro</i> 不消化NDF含量との関係                      ○出口健三郎1・飯田憲司2・原 悟志2・山川政明2(1道立根釧農業試験場、2道立畜産試験場)</p>	10:45	<p><b>615</b> 高密度STSマーカーとガンマ線欠変異体を用いたギニアグラスのアポミクシス遺伝子座領域の配列取得                      ○高原 学1・蝦名真澄1・飯村敬二1・秋山征夫1・山田-秋山仁美1・高溝 正1・中川 仁3(1農研機構・畜産草地研究所、2農研機構・東北農業研究センター、3農業生物資源研究所)</p>
11:00	<p><b>堀口健一</b></p> <p><b>417</b> 高消化性ソルガム「葉月」を主原料に調製した発酵TMRの好気安定性                      ○水流正裕1・井出忠彦1・後藤和美1・清沢敦志1・大久保吉啓1(長野県畜産試験場)</p>	11:00	<p><b>616</b> イタリアンライグラスのいもち病圃場検定法                      ○山下 浩1・我有 満1・高井智之1・小橋 健2(1九州沖縄農業研究センター、2山口県農林総合技術センター)</p>
11:15	<p><b>418</b> 交雑種肥育牛における高消化性ソルガム「葉月」を主原料に調製した発酵TMRの給与効果                      ○水流正裕1・井出忠彦1・古賀照章1・佐藤 隆1・市川祐司1・大久保吉啓1(長野県畜産試験場)</p>	11:15	
11:30	<p><b>419</b> 飼料米を利用したTMRサイレージの調製と発酵品質                      ○小橋有里1・関 誠1・島津是之1・高橋英太1(新潟県農業総合研究所畜産研究センター)</p>	11:30	
11:45	<p><b>420</b> 牧草サイレージおよび製造粕類を主体とした飼料が乳成分および風味に及ぼす影響                      ○塚本麻奈1・加藤里依1・八代田真人1・大谷滋1(岐阜大学応用生物科学部)</p>	11:45	
12:00		12:00	

【口頭発表について】  
 講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。  
**時間厳守をお願いします。**  
 またプロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月27日		
E会場 (220講義室)		
	座長	8.その他
9:00	増田隆晴	<b>801</b> ロールベール吊り上げ用簡易荷役具の開発 ○松尾守展1・浦川修司1・喜田環樹1・福井弘之2・馬木康隆2・中井文徳2・武内徹郎2(1畜産草地研究所、2徳島県立農林水産総合技術支援センター)
9:15		<b>802</b> ベールラップ油圧によるロールベール計量手法の開発 第1報 ○喜田環樹1・浦川修司1・松尾守展1・志藤博克2(1畜産草地研究所、2農研機構・生研センター)
9:30		<b>803</b> 分離プレートと放出プレートからなる種子の高速線出機構 ○橘 保宏・志藤博克・川出哲生(農研機構生研センター)
9:45	浦川修司	<b>804</b> 汎用型飼料収穫機による稲わら収集性能 ○川出哲生・志藤博克・橘 保宏(農研機構生研センター)
10:00		<b>805</b> 東北・関東地域における飼料イネの多収栽培 才 宏偉・湯山奈々・平田球子・杉田紳一・○杉信賢一・矢崎聖二(社団法人 日本草地畜産種子協会)
10:15	服部育夫	<b>806</b> サイレージ不良発酵農家の問題と対策 第10報 スラリー施用時における施肥銘柄の違いがイネ科各草種の収量及び飼料成分に及ぼす影響 ○谷津英樹・北村 亨・龍前直紀・高山光男(雪印種苗株式会社)
10:30		<b>807</b> サイレージ不良発酵農家の問題と対策 第11報 スラリー施用時における施肥銘柄の違いがイネ科各草種のサイレージ発酵品質に及ぼす影響 ○北村 亨・谷津英樹・龍前直紀・高山光男(雪印種苗株式会社)
10:45		<b>808</b> サイレージ不良発酵農家の問題と対策 第12報 気象条件がイネ科各草種のサイレージ発酵品質に及ぼす影響 ○北村 亨・谷津英樹・龍前直紀・高山光男(雪印種苗株式会社)
11:00		<b>809</b> サイレージ不良発酵農家の問題と対策 第13報 地下茎型イネ科草種優占草地における簡易更新による対策 ○龍前直紀・谷津英樹・北村 亨・高山光男(雪印種苗株式会社)
11:15		
11:30		
11:45		
12:00		
<b>【口頭発表について】</b> 講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。 <b>時間厳守をお願いします。</b> またプロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。		

口頭発表プログラム 3月27日

A会場 (217講義室)			B会場 (206講義室)		
	座長	2.造成・管理・栽培		座長	3.放牧・家畜管理・行動
13:10	林 義 郎	213 採草地牧草の収量および栄養価推定に向けたハイパースペクトル画像解析利用技術 ○鈴木由美子1・岡本博史1・田中勝千2・皆川秀夫2・片岡 崇1・柴田洋一1(北海道大学大学院農学院・農学研究院、2北里大学獣医学部)	13:10	八代田 真 人	320 無処理杉ノコクズの飼料的活用に関する研究 ～乾草補給の効果について～ ○中川敏法・福山喜一・新美光弘・川村 修(宮崎大学農学部)
13:25		214 飼料用トウモロコシ畑における生産管理システムの構築ーハイパースペクトルデータを用いた飼料用トウモロコシ( <i>Zea mays</i> L.)成分の推定ー ○中坪あゆみ1・田中勝千2・杉浦俊弘2・皆川秀夫2(1北里大学大学院獣医学産学研究所、2北里大学獣医学部)	13:25		321 秋季の放牧泌乳牛への異なる分解速度の非繊維性炭水化物の組み合わせ給与が食草量、窒素利用および乳生産に及ぼす影響 ○上田宏一郎1・佐藤悠二1・高橋 誠2・中辻浩喜1・近藤誠司2(1北大院農、2北大FSC)
13:40		215 画像解析を応用した放牧草地における雑草検出 ○岡本博史1・鈴木由美子1・高橋 誠2・片岡 崇1・柴田洋一1(北海道大学大学院農学研究院・農学院、2北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)	13:40		322 定置放牧に組み合わせた輪換放牧の輪換間隔の違いが牧草生産量および利用草量に及ぼす影響 ○高橋 誠1・遠藤まり2・上田宏一郎3・中辻浩喜3・近藤誠司1(1北大FSC、2北大農、3北大院農)
13:55	雑 賀 優	8. その他(シニア会員発表)	13:55		323 時間制限放牧下の泌乳牛における食草行動と心拍数変化の関連 ○森 光生1・佐藤悠二1・新宮裕子3・高橋 誠2・中辻浩喜1・上田宏一郎1・近藤誠司2(1北大院農、2北大FSC、3道立上川農試天北支場)
		810 南米・ポリビアの草原 ○林 治雄(元畜産草地研究所)			
14:10		811 札幌産子モシーのがまの穂病を彦根で・・・ ○但見明俊	14:10	進 藤 和 政	324 放牧牛の行動判別システムの開発 ○池田堅太郎・福重直輝・小松篤司・押部明徳・山口 学(東北農業研究センター)
14:25		812 草地学とリモートセンシングと私 ○秋山 侃(元岐阜大学流域圏科学研究センター)	14:25		325 草地構造の変化がヒツジおよびヤギの採食行動と採食速度に及ぼす影響 ○八代田真人・佛淵麻衣・川田里絵・谷 幸宗・大谷 滋(岐阜大学応用生物科学部)
14:40		813 世界の草原草地から見た紀伊半島と四国外帯草地の立地特長 ○早川康夫(神奈川県藤沢市)	14:40		326 多様な植生下における草食家畜の採餌メカニズムの解明. 3. ウシの植物種選択における嗅覚の役割 ○横山美沙・堀 雅敏・小倉振一郎(東北大学大学院農学研究科)
14:55		814 「草にまなぶ」-大学教育に於ける「生と死」- ○上久保順一郎(高知県南国市里改田)	14:55		327 多様な植生下における草食家畜の採餌メカニズムの解明. 4. 植物の選択性と糖分含量との関係 ○横山美沙・堀 雅敏・小倉振一郎(東北大学大学院農学研究科)
15:10			15:10		

【口頭発表について】

講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。

**時間厳守でお願いします。**

またプロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月27日

C会場 (218講義室)			D会場 (211講義室)		
	座長	4.飼料調製加工・貯蔵・利用		座長	6.育種
13:10	出口 健三郎	421 発酵TMRの品質に及ぼす澱粉分解酵素添加の影響 ○高浦一希・本間 満・Lyndon F. Quinitio・石田聡一(雪印種苗株式会社)	13:10	高溝 正	617 2倍体メドウフェスクと4倍体ベレニアルライグラスとの3倍体F1雑種戻し交雑後代における倍数性と染色体移入領域の推定 ○田村健一・小松敏憲1・田瀬和浩1・眞田康治1・米丸淳一2・森川利信3(1北海道農業研究センター、2農業生物資源研究所、3大阪府立大学)
13:25		422 葦の収量、化学成分および栄養価について ○石田元彦・中村 亮・南都慶介(石川県立大学生産科学科)	13:25		618 ソルガム「葉月」における接種による紫斑点病の罹病が収量、飼料品質および嗜好性に及ぼす影響 ○清沢敦志1・後藤和美1・水流正裕1・太田俊明1・春日重光2(1長野県畜産試験場、2信州大学)
13:40		423 ヤーコン茎葉部の飼料化および機能性に関する研究 ○小池晶琴1・ブラダン ラジブ2・浜田俊雄2・岡本智伸2・梶田聖孝2(1東海大学大学院生物科学研究科、2東海大学大学院農学部)	13:40		619 子実型ソルガムの登熟期における稈汁Brix糖度および推定糖収量の経時的変化 ○清沢敦志1・後藤和美1・太田俊明1・浅井貴之1・春日重光2(1長野県畜産試験場、2信州大学)
13:55	高平 寧子	424 粗飼料分析における牧草サイレージの評価方法の検討(第3報)粗蛋白質が過小評価となる基準とVBNの推定方法の検討 ○篠田英史・三浦俊治・古川 修(雪印種苗株式会社)	13:55	米丸 淳一	620 イタリアンライグラスでの低消化性繊維含量による選抜が酵素分画含量、推定TDN含量に及ぼす影響 ○深沢芳隆・矢萩久嗣(茨城県畜産センター)
14:10		425 粗飼料分析における牧草サイレージの評価方法の検討(第4報)風乾処理による過小評価を補正したCP含量とVBN/T-N%の近赤外分析による直接推定 ○篠田英史・三浦俊治・古川 修(雪印種苗株式会社)	14:10		621 クサヨシ( <i>Phalaris arundinacea</i> L.)自生集団における遺伝的多型解析 ○田中啓介1・秋山征夫2・久保田明人2・高原真規1・上山泰史2(1長岡技術科学大学、2農研機構東北農業研究センター飼料作物育種研究東北サブチーム)
14:25		426 根釧地域で調製されたトウモロコシサイレージの高濃度デオキシバレンール汚染に関する要因解析 ○飯田憲司1・湊 啓子1・出口健三郎2・田嶋規江3・志鎌広勝3・山川政明1(1北海道立畜産試験場、2北海道立根釧農業試験場、3根室農業改良普及センター北根室支所)	14:25		622 <i>Lolium</i> 属自殖用SSRマーカーの開発 平田球子1・清多佳子2・湯山奈々1・○才 宏偉1(1日本草地畜産種子協会飼料作物研究所、2(独)畜産草地研究所育種工学チーム)
14:40	小林 良次	427 栽培条件と貯蔵がソルガムの硝酸態窒素濃度に及ぼす影響 ○孫 孝政1・山名伸樹2(1鳥取大学大学院連合農学研究科、2鳥取大学農学部)	14:40	623 マーカー選抜を利用したイタリアンライグラス冠さび病抵抗性系統の育成 ○平田球子1・佐々木亨1・藤森雅博2・小橋 健3・才 宏偉1(1日本草地畜産種子協会、2山梨県酪農試験場、3山口県農林総合技術センター)	
14:55		428 「北陸193号」の生稲わらサイレージに関する飼料特性 ○平柳恵子1・高橋英太1・樋口泰浩2・関 誠1・佐藤義弘1(1新潟県農業総合研究所畜産研究センター、2作物研究センター)	14:55		
15:10			15:10		

【口頭発表について】

講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。

**時間厳守をお願いします。**

またプロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

自由シンポジウムプログラム 3月27日 15:30～17:30	
B会場(206講義室)	C会場(218講義室)
自由シンポジウム1	自由シンポジウム2
「生物多様性と半自然草地— 成立と維持に向けた戦略」	「我が国の水田裏作における飼料生産の展望」
<p>15:30</p> <p>■司会: 杉山修一(弘前大学)</p> <p>■趣旨説明: 高橋佳孝 (近畿中国四国農業研究センター)</p> <p>■講演:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文理融合的アプローチによる半自然草地維持プロセスの解明 湯本貴和(総合地球環境学研究所)</li> <li>2. 日本の草地の歴史 小椋純一(京都精華大学人文学部)</li> <li>3. 半自然草地の変遷史と草原性生物の分布 須賀 丈(長野県環境保全研究所)</li> <li>4. 里地里山における半自然草地の多様性と維持機構 楠本良延・平舘俊太郎 (農業環境技術研究所)</li> </ol> <p>■総合討論</p> <p>17:30</p>	<p>■司会: 佐藤節郎(畜産草地研究所)</p> <p>■基調講演 「飼料の自給率向上と持続的畜産のために」 吉田宣夫(山形大学)</p> <p>■話題提供:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水田から生産される飼料作物の広域流通の実態と展望 浦川修司(畜産草地研究所)</li> <li>2. 水田における飼料ムギと飼料イネ二毛作研究の展望 佐藤節郎(畜産草地研究所)</li> <li>3. 三重県における水田粗飼料生産の現状と今後の可能性 神田幸英 (三重県農業研究所伊賀農業研究室)</li> </ol> <p>■総合討論: 座長 小林良次(畜産草地研究所)</p>

自由シンポジウムプログラム 3月27日 15:30～19:30	
D会場(211講義室)	E会場(220講義室)
自由シンポジウム3 「草地の生態系サービス」	自由シンポジウム4 「内蒙古砂漠化／退行草原の研究 －土、草、家畜研究の融合－」
15:30	<p>■司会: 平田昌彦(宮崎大学)</p> <p>■講演:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Paying farmers for ecosystem services provided by grasslands: the European approach Alain Peeters (RHEA, natural Resources, Human Environment and Agronomy, Gentinnes, Belgium)</li> <li>2. 日本における生態系サービスに関する政策、研究、社会活動: 草地における事例紹介 下田勝久(畜産草地研究所)</li> </ol> <p>■総合討論</p>
17:30	<p>■司会: 石川尚人(筑波大学)</p> <p>■講演</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内蒙古草原について(歴史、現状と問題) シン旗 所長(内蒙古草原勘察設計院)</li> <li>2. 内蒙古草原二十年間(1983-2003)の変化 高娃副 研究員(内蒙古草原勘察設計院)</li> <li>3. 内蒙古草原－問題と対策 烏恩 副教授(内蒙古農業大学生態環境学院)</li> <li>4. 内蒙古における草地造成による草原管理 阿拉塔センター長 (内蒙古畜牧科学院草原研究所 四子王実験センター)</li> <li>5. 内蒙古全域の家畜飼育と草の栄養 阿拉騰達来 所長 (内蒙古畜牧科学院先端技術研究所)</li> <li>6. 近赤外線分析・葉緑素分析を応用した内蒙古草原の草、土、家畜研究 甘利雅拏 (畜産草地研究所)</li> <li>7. 今後の新しいリモートセンシング技術の応用と展開 川村健介 (広島大学)</li> </ol>
19:30	<p>自由シンポジウム5 「草地学は海外でどのように活かされているか？」</p> <p>■講演</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブラジル・モンゴルにおける長期在外研究 下田勝久(畜産草地研究所)</li> <li>2. 「進もうとする道に三叉があったらどうする？」 「拾って使えばいいじゃん」…岐路に立つ「草地学」への「共生」的アプローチ 菅原幸哉(畜産草地研究所)</li> </ol> <p>■若手の会紹介: 山田大悟(畜産草地研究所)</p>

ポスター発表 3月28日 13:45～16:45 (三翠ホール)	
1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
P1	採草利用草地の生産管理-窒素動態モデル -土壌パート1- ○板野志郎1・寶示戸雅之1・富松 元2・山本 博1(1畜産草地研究所、2東北大学大学院)
P2	シバ草地における季節的な草量変化を推定するためのライジングプレートメータの周期関数モデル ○板野志郎1・富松 元1、2・中神弘詞1(1:畜産草地研究所、2:東北大学大学院)
P3	人工草地における土壌有機炭素蓄積に関する動態モデル ○坂上清一1・板野志郎2・高橋繁男3・桐田博充4(1北農研、2畜草研、3日本草地畜産種子協会、4静岡県函南町)
P4	草地における土壌炭素賦存量およびその地理的分布 ○松浦 庄司1・神山 和則2・佐々木 寛幸1(1畜産草地研究所、2農業環境技術研究所)
P5	暖温帯の採草地および飼料畑における炭素収支- 家畜改良センター宮崎牧場における一事例- ○小島かおり1・新美光弘1・清水真理子2・波多野隆介2・室原盛也3・川村 修1(1宮崎大学、2北海道大学、3家畜改良センター)
P6	暖温帯の採草地における温室効果ガス収支 - 家畜改良センター宮崎牧場における5年間の検討- ○新美光弘1・小島かおり1・宮田 明2・清水真理子3・松浦庄司4・間野正美2・波多野隆介3・寶示戸雅之4・室原盛也5・三田村 強6・川村 修1(1宮崎大学農学部、2農業環境技術研究所、3北海道大学農学部、4畜産草地研究所、5家畜改良センター、6日本草地畜産種子協会)
P7	気球搭載デジタルビデオカメラによる草量と草質の面的評価- イタリアンライグラス採草地における予備試験- ○川村健介1・作野裕司2・田中義和1・黒川勇三2・渡辺也恭(1広島大・院・国際、2広島大・院・工、3広島大・院・生物圏、4北農研センター)
P8	高分解能マルチスペクトル衛星データを用いたチモシー主体草地への地下茎型イネ科雑草侵入程度の推定 ○牧野 司1・出口健三郎1・林 拓1・佐藤尚親2(1北海道立根釧農業試験場、2北海道農政部)
P9	大規模草地における精密放牧システムの構築(12)携帯式生育情報測定装置の利用による放牧草の粗タンパク含量の推定 ○渡辺也恭1・坂上清一1・川村健介2(1北海道農業研究センター、2広島大・院・国際)
P10	耕作放棄地におけるTDNおよびCPの簡易推定法 ○堤 道生1・高橋佳孝1・恵本茂樹2・伊藤直弥2,3・佐原重行4・吉村知子4,5・渡邊貴之6(1近畿中国四国農業研究センター、2山口県農林総合技術研究センター畜産技術部、3現在山口県農林水産部、4広島県立総合技術研究所畜産技術センター、5現在広島県立総合技術研究所農業技術センター、6家畜改良センター鳥取牧場、現在家畜改良センター十勝牧場)
P11	時期の異なるグレイジングは植物の種多様性にどのような影響をもたらすか? ○吉原 佑・岡田美耶・佐藤衆介(東北大学大学院農学研究科)
P12	放牧草地におけるウシの活動が植物の種多様性と生産性に与える影響を予測する ○岡田 美耶・吉原 佑・佐藤衆介(東北大学大学院農学研究科)
P13	安家森半自然草地における放牧が植生動態に及ぼす影響 1. 上位種 ○東山雅一1・築城幹典2・高橋繁男3・池田堅太郎1・成田大展4・梨木守5・金子真1(1東北農研、2岩手大学、3現在日本草地畜産種子協会、4現在北海道勇払郡、5現在畜草研)
P14	安家森半自然草地における放牧が植生動態に及ぼす影響 2. 野の花 ○東山雅一1・築城幹典2・高橋繁男3・池田堅太郎1・成田大展4・梨木守5・金子真1(1東北農研、2岩手大学、3現在日本草地畜産種子協会、4現在北海道勇払郡、5現在畜草研)
P15	ネザサ優占草地における利用管理が草量の空間的変動に及ぼす影響 ○岡本智伸1・三上雅史2・萩原慎太郎3・伊藤秀一1・栂田聖孝1(1東海大農、2現在茨城大院農、3東海大院農)
P16	LCAによる酪農の地域別・生産規模別環境影響評価 ○築城幹典・竹内 学・齋藤弘太郎・前田武己(岩手大農)
P17	初等成長関数の力学的性質 ○下條 雅敬・石松 慧・中野 豊(九州大学農学部)
2. 造成・管理・栽培、7. 土壌理化学・肥料・土壌微生物	
P18	シロクローバ追播によるイネ科寡占放牧草地の生産性改善 2)追播後2年間の植生と生産性 ○八木隆徳・高橋俊 (農研機構・北海道農業研究センター)
P19	新規マメ科牧草ガレガ・チモシー混播草地の夏期造成 3. 播種時期が翌年収量のカレガ割合に及ぼす影響 ○高橋 俊・八木隆徳(北海道農業研究センター)
P20	北海道中央部における飼料用ダイズ栽培の検討- 晩生品種の部位別サイレージの栄養価と発酵品質- ○義平大樹1・小華和寛紀1・小阪進一1・高田寛之2・奥村健治2・白岩立彦3(1酪農学園大学、2北海道農業研究センター、3京都大学大学院農学研究科)
P21	エンドファイトを利用したイタリアンライグラス ( <i>Lolium multiflorum</i> Lam.) の特性の改良. ? . 品種「びしゃもん」の熊本県、山口県および茨城県における栽培特性 ○佐々木 亨1・小橋 健2・深沢芳隆3・陸門由果子4・柴 卓也5・高橋繁男1・平田球子1・北原徳久1(1日本草地畜産種子協会、2山口県農林総合技術センター、3茨城県畜産センター、4家畜改良センター熊本牧場、5畜産草地研究所)
P22	混播栽培したオオムギ・ライコムギの刈り取り時期による収量性的変化 ○佐藤節郎・森田聡一郎・菅野 勉(畜産草地研究所)

ポスター発表 3月28日 13:45～16:45 (三翠ホール)	
2. 造成・管理・栽培、7. 土壌理化学・肥料・土壌微生物	
P23	堆肥多量施用条件下におけるエンバクの冬枯れ発生の品種間差 ○須永義人・森田聡一郎・佐藤節郎・川地太兵(畜産草地研究所)
P24	エンバク冬枯れ発生に対する播種年内の有効積算温度および品種間差の影響 ○森田聡一郎・須永義人1・佐藤節郎1・菅野 勉1・黒川俊二2(1畜産草地研究所、2中央農業研究センター)
P25	トウモロコシの冬作条間への播種による完全不耕起体系の検討 ○森田聡一郎1・菅野 勉1・佐藤節郎1・黒川俊二2(1畜産草地研究所、2中央農業研究センター)
P26	飼料用トウモロコシ栽培における牽引式不耕起播種機の作業性 ○平久保友美1,2・増田隆晴3・多田和幸2・魚住 順4・佐野宏明1(1岩手大学、2岩手県農業研究センター畜産研究所、3中央農業改良普及センター、4東北農業研究センター)
P27	栃木県における飼料用トウモロコシの生育予測と実測値の差 ○九石寛之・鮎田直子・増山秀人(栃木県酪農試験場)
P28	関東北部の早生品種と晩生品種を組み合わせた飼料用トウモロコシ二期作栽培における乾物収量及び乾物率 ○菅野 勉1・森田聡一郎1・佐藤節郎1(1畜産草地研究所)
P29	1期作目に早晩性の異なる品種を利用したトウモロコシ二期作栽培の九州北部および南部での生産性の比較 ○加藤直樹・佐藤健次・服部育男・吉川好文・村木正則(九州沖縄農研)
P30	推奨速度を超えた播種が播種精度およびトウモロコシの生育に与える影響 ○安達 美江子1、太田 二郎1、小森 鏡紀夫2(1ホクレン農業協同組合連合会、2パイオニアハイブレッDJジャパン株式会社)
P31	天北地域におけるサイレージ用とうもろこしの狭畦栽培での全層および側条施肥 ○井内浩幸(北海道立上川農業試験場天北支場)
P32	飼料用トウモロコシ畑における生産管理システムの構築 - ハイパースペクトルデータを用いた飼料用トウモロコシ( <i>Zea mays</i> L.)の収穫適期の判定 - ○中坪あゆみ1・田中勝千2・杉浦俊弘2・皆川秀夫2(1北里大学大学院獣医学産学研究所、2北里大学獣医学部)
P33	飼料用ダイズのリビングマルチ栽培における土壌中交換性カリウム含量 ○金子 真・魚住 順・出口 新・嶋野英子(東北農業研究センター)
P34	飼料用トウモロコシに対する乳牛スラリーの畦間追肥効果 ○松本武彦1・甲田裕幸2・渡部 敢2, 3・三枝俊哉1・高橋圭二1, 4(1道立根釧農試、2道立畜試、3現在:道立十勝農試、4現在:酪農学園大学)
P35	シバ草地へのメタン発酵消化液施用が土壌環境に及ぼす影響(第3報、3年間の結果) ○霧村雅昭・浅野陽樹・太田夕貴・阪元瑠果・杉本安寛(宮崎大学農学部)
P36	水田でのノットグラス-イタリアンライグラス栽培へのメタン発酵消化液の多量施用が生産性および環境に及ぼす影響(第3報、4年目の結果) ○霧村雅昭・浅野陽樹・飛佐 学・臼崎早苗・杉本安寛(宮崎大学農学部)
P37	酸性土壌におけるリン酸および炭酸カルシウムの施用が数種暖地型牧草の生育に及ぼす影響 ○屋良朝宣1・照屋雄大2・川本康博2(1鹿児島大学大学院連合農学研究科、2琉球大学農学部)
P38	飼料イネとそのサイレージ中のフモニシンの分布と動態 ○上垣隆一1・月星隆雄1・小林寿美2・遠野雅徳1・虎 会利3・蔡 義民1(1畜産草地研究所、2新潟大院自然研、3鄭州大学)
3. 放牧・家畜管理・行動	
P39	放牧牛の採食回数や行動から推定する乾物充足率と転牧時期 ○沖山恒明・新出昭吾(広島県立総合技術研究所畜産技術センター)
P40	時間制限放牧している搾乳牛への濃厚飼料給与の増減が放牧草摂取量に及ぼす影響 ○的場和弘・中野美和・桐村恭子(畜産草地研究所)
P41	傾斜放牧草地における黒毛和種育成牛の発育と補助飼料給与水準、歩行距離、牧区地形の関係 ○林 義朗1・小林 剛2・後藤裕司2・木戸恭子2(1九州沖縄農業研究センター、2畜産草地研究所)
P42	遊休桑園における放牧経験の違いがウシの桑葉摂取行動に及ぼす影響 ○小倉振一郎1、前川悠衣2、田中繁史3(1:東北大学大学院農学研究科、2:山形大学理学部、3:東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター)
P43	放牧草を想定したペレニアルライグラス主体生草のTDN推定式 ○中野美和・桐村恭子・的場和弘(畜産草地研究所)
P44	ソルゴー型ソルガムを利用した冬季放牧の検討 2.ソルゴー型ソルガム3品種の検討 ○手島茂樹1・池田哲也1・進藤和政2(1畜産草地研究所、2国際農林水産業研究センター)
P45	モンゴル国森林ステップ地域における代表的草種の栄養成分の季節変動 ○山崎正史1・Zolzaya S.2・Bayarmaa S.2・進藤和政1・Erdenechimeg A.2・Baasanjalbuu B.2・鳥山和伸1(1国際農林水産業研究センター、2モンゴル国立農業大学)
P46	モンゴル国森林ステップ地域での寒冷季における放牧去勢ヒツジへのフスマ給与が体重変化に及ぼす影響 ○山崎正史1・Baasanjalbuu B.2・Zolzaya S.2・Bayarmaa S.2・進藤和政1・鳥山和伸1(1国際農林水産業研究センター、2モンゴル国立農業大学)
P47	放牧飼養における温室効果ガス発生量の評価 - 札幌の放牧地における牛尿由来のメタンと亜酸化窒素の発生 ○秋山典昭・八木隆徳・須藤賢司・小路 敦・渡辺也恭・坂上清一・松村哲夫・永田 修(農研機構・北海道農業研究センター)

ポスター発表 3月28日 13:45～16:45 (三翠ホール)

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P48	ロイテリン生産性乳酸菌及びプロピオン酸ナトリウムのイネホークロップロールベールサイレージへの接種 ○田中 治1・小松篤司1・押部明徳1・大谷隆二1・北村 亨2・中西載慶3(1東北農業研究センター、2雪印種苗(株)、3東京農業大学)
P49	施肥水準の違いおよび乳酸菌の添加が稲わらサイレージの発酵品質に及ぼす影響 ○曹 陽1・石川 恵2・吉田宣夫2・堀口健一2・高橋敏能2・Huili Pang1・格 根図・1蔡 義民1(1畜産草地研究所、2山形大学農学部)
P50	飼料イネの乾物消化率からのTDN含有量の推定 ○甘利雅弘1・永西 修1・服部育男2・樋口浩二1・加藤 浩3(1畜産草地研究所、2九州沖縄農業研究センター、3作物研究所)
P51	アイコンサイレージの収穫調製作業能率の検証(第2報 作業精度の検証) ○大津英子1・大下友子1・石田茂樹1・高田雅透2・滑川拓朗3(1北海道農業研究センター、2(株)IHスター、3家畜改良センター十勝牧場)
P52	汎用型飼料収穫機アタッチメントの違いが大豆WCSの収穫作業性並びにサイレージ品質に及ぼす影響 ○増田隆晴1・河本英憲2・魚住 順2(1岩手県中央農業改良普及センター、2東北農業研究センター)
P53	ミニフレコンを用いて調製したサイレージの発酵品質 ○堀口健一1・石田 伸2・高橋敏能1・吉田宣夫1(1山形大学農学部、2株式会社三洋)
P54	中央卸売市場における野菜残さの発生状況 ○野中和久・寺田文典(畜産草地研究所)
P55	焼酎粕濃縮液混合発酵TMR調製時の水分含量が発酵品質、乾物回収率および好気的変敗に及ぼす影響 ○服部育男・神谷 充・鈴木知之・加藤直樹・佐藤健次(九州沖縄農業研究センター)
P56	16S rDNA Phylogenetic Analysis of Lactic Acid Bacteria Isolated from Silage in Beijing ○Huili Pang1, 3, Lujia Han2, Guangyong Qin3, Yimin Cai1*(1National Institute of Livestock and Grassland Science, Japan; 2China Agriculture University, 100083, China, 3Zhengzhou University, 450052, Henan, China)
P57	野菜残さ飼料調製における硝酸態窒素低減微生物の探索 ○蔡 義民1・楊 勁松2・川地太兵1・虎 会利1・小林寿美1・曹 陽1・格 根図1・遠野雅徳1・上垣隆一1・野中和久1・寺田文典1(1畜草研・2海南大学)
P58	ジャガイモとサツマイモバイオエタノール抽出残渣の飼料成分 ○蔡 義民1・荒金光弘2・遠野雅徳1・上垣隆一1・小林 透3・田宮誠司4・徳安 健2(1畜草研、2食品総合研、3九州沖縄農研セ、4北海道農研セ)
P59	ヒラタケあるいはタモギタケの培養がトウモロコシ茎葉の消化性に及ぼす影響 ○山川政明・原 悟志・湊 啓子(北海道立畜産試験場)
P60	飼料の炭水化物画分と第一胃内有効分解率比 ○永西 修・野中最子・樋口浩二・小林洋介(畜産草地研究所)
P61	Growth of <i>Aspergillus flavus</i> on total mixed ration and its silage used as medium. ○Md. Kamal Uddin, M. Kondo, Y. Takahashi, S. Karita and M. Goto (Graduate School of Bioresources, MieUniversity, Japan)
P62	飼料用米をトウモロコシ、大麦と全量代替した発酵TMRの泌乳牛への給与 ○山本泰也1・西口 茂1・乾 清人2・平岡啓司1・川村淳也1・関 誠3・野中和久4(1三重県畜産研究所、2三重県農水商工部農畜産室、3新潟県農業総合研究所畜産研究センター、4(独)畜産草地研究所)
P63	白菜漬物残さの飼料成分とサイレージ調製 ○格根図1・蔡 義民2・曹 陽2・虎 会利2・二上達也3(1内モンゴル農業大学、2畜産草地研究所、3グリーンライブ株式会社)
P64	浮イネRayadaの収量、サイレージの発酵品質および嗜好性 ○富田耕治1・○中野 豊1・泉 清隆1・石若礼子1・柿原秀俊1・梶原良徳1・梶原さゆり1・山崎敦子1・四宮直子1・飛佐 学2・望月俊宏1(1九州大学農学部、2宮崎大学農学部)
P65	果樹剪定枝を利用した発酵TMRの飼料特性 ○高橋敏能・小野寺 悠・○堀口健一・吉田宣夫(山形大学農学部)
P66	The Dynamic Changes of Microbial Flora in Alfalfa Silage ○Huijie Zhang1, Qizhong Sun1, Zhu Yu2 and Ya Tao 1, Yimin Cai3 (1Grassland Research Institute of Chinese Academy of Agricultural Sciences, China; 2China Agriculture University, China; 3National Institute of Livestock and Grassland Science)

ポスター発表 3月28日 13:45～16:45 (三翠ホール)	
5. 生理・形態。病理・昆虫	
P67	<i>Festuca</i> 属・ <i>Lolium</i> 属草種における葉緑体DNAのタイプと共生する <i>Neotyphodium</i> エンドファイトとの関係 ○菅原幸哉1・飛奈宏幸2・荒川 明1・山下雅幸2・澤田 均2・岡部郁子1・月星隆雄1 (1畜産草地研究所、2静岡大学)
P68	トウモロコシ根腐病菌による幼苗の立枯れ症状 ○菅原幸哉・森田聡一郎・月星隆雄・岡部郁子(畜産草地研究所)
P69	イタリアンライグラスいもち病の殺菌剤種子粉衣による防除 ○月星隆雄・岡部郁子・菅原幸哉(畜産草地研究所)
P70	サイレージ用トウモロコシの刈取り時期によるかび毒デオキシニバレノールの蓄積濃度の違い ○岡部 郁子1・平岡久明2・三木一嘉3・菅原幸哉1・月星隆雄1(1畜産草地研究所、2農林水産消費安全技術センター、3長野県野菜花き試験場)
P71	エンドファイト感染ペレニアルライグラス種子を給与したハタネズミおよびcytochrome P450阻害マウスにおける中毒発現の研究 ○岡田美耶1・井上達志2(1東北大学大学院農学研究科、2宮城大学食産業学部)
P72	2009年北海道十勝管内で栽培した飼料用トウモロコシ8品種における赤かび病の発生とデオキシニバレノール汚染 ○湊 啓子・飯田憲司・山川政明・吉田昌幸(北海道立畜産試験場)
P73	Tolerance to climate warming in C3 grasses. I. Physiological mechanisms responsible for summer damage in <i>Lolium perenne</i> cultivars under fields. ○Wagdi Saber Soliman 1・Sugiyama Shu-ichi.1・Fujimori Masahiro2 (1Hirosaki University, 2Yamanashi Dairy Experimental Station)
P74	Tolerance to climate warming in C3 grasses. II. Physiological tolerance under field summer conditions in <i>Lolium perenne</i> is associated with tolerance to oxidative stress ○Wagdi Saber Soliman 1・Sugiyama Shu-ichi.1・Fujimori Masahiro2 (1Hirosaki University, 2Yamanashi Dairy Experimental Station)
6. 育 種	
P75	暖地型牧草ブラキアリアにおけるrDNA染色体の形態多様性 ○秋山征夫1・山田-秋山仁美2・Peggy Ozias-Akins3・蝦名真澄4 (1東北農業研究センター、2岩手大学、3ジョージア大学、4畜産草地研究所)
P76	イネ科牧草ブルガリア収集・導入遺伝資源の特性 ○眞田康治・田瀬和浩・田村健一・小松敏憲(北海道農業研究センター)
P77	DNAマーカーを用いたクレーピングベントグラスと我が国に自生する <i>Agrostis</i> 属との交雑後代の同定(2) ○清 多佳子1・高溝 正1・榎本 敬2・山田敏彦3(1畜産草地研究所・2岡山大学資源生物科学研究所・3北大FSC)
P78	イタリアンライグラスの近交系統作出に向けた自殖後代の作出 ○清 多佳子・荒川 明・内山和宏・水野和彦・高溝 正(畜産草地研究所)
P79	四倍体雄性不稔ペレニアルライグラスの育成 1. 倍加個体及びその後代の雄性不稔性 ○藤森雅博1・藤岡洋子1 清 多佳子2、保倉勝己1、荒川 明2(1山梨県酪農試験場、2畜産草地研究所)
P80	冠さび病抵抗性遺伝子を持つ四倍体ペレニアルライグラスの育成 ○藤岡洋子1・清 多佳子2・荒川 明2・早坂邦昭3・古谷明彦3・田村健一4・藤森雅博1(1山梨県酪農試験場、2畜産草地研究所、3家畜改良センター、4北海道農業研究センター)
P81	オーチャードグラス高越冬性・耐病性・多収系統育成のためのF1交雑由来母系の暖地での評価 ○川口 優1・内山和宏2・室原盛也3・大浦康子1・牧野雄二1・赤塚公一1・水野和彦2・荒川 明2・早坂邦昭1*・寺戸貴裕3** (1家畜改良センター熊本牧場、2畜産草地研究所、3家畜改良センター宮崎牧場、*現 家畜改良センター茨城牧場長野支場、**現 生産局)
P82	アルファルファの耐踏圧性に関する研究(3)選抜第2世代系統の播種年の耐踏圧性について ○廣井清貞・松村哲夫・奥村健治・高田寛之(北海道農研)
P83	トウモロコシF2世代でのすず紋病圃場抵抗性QTL解析 ○大浦康子1・黄川田智洋2・川口 優1・牧野雄二1・赤塚公一1・青山秀人1・佐藤 尚2(1家畜改良センター熊本牧場、2畜産草地研究所)
P84	シロイヌナズナ由来DREB1A遺伝子を導入した遺伝子組換えサトウキビの乾燥ストレス耐性評価 ○高橋 亘1・高溝 正1・伊藤裕介2・中島一雄2・篠崎和子2・寺島義文3・松岡 誠3・寺内方克3(1畜産草地研究所、2国際農林水産業研究センター、3九州沖縄農業研究センター)
P85	イネ科永年性草本エリアンサスの母系間差 ○小林 真1・我有 満2・杉本 明3(1農研機構畜産草地研究所、2農研機構九州沖縄農業研究センター、3国際農林水産業研究センター)

ポスター発表 3月28日 13:45～16:45 (三翠ホール)

8. その他

P86	南米・ボリビアの低地湿潤草原 ○林 治雄(元畜産草地研究所)
P87	公共牧場跡地に侵入したニホンジカが草地雑草植生に与える影響 ○渡辺 修 <sup>1</sup> ・紀伊 光 <sup>2</sup> ・竹田謙一 <sup>1</sup> ・亀井利活 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 信州大学農学部、 <sup>2</sup> 協友アグリ)
P88	家畜堆肥の梱包装置および密封装置の開発 ○平岡啓司 <sup>1</sup> ・川村淳也 <sup>1</sup> ・吉村雄志 <sup>1</sup> ・山田陽稔 <sup>1</sup> ・小林良次 <sup>2</sup> ・菅野 勉 <sup>2</sup> ・伊吹俊彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 三重県畜産研究所、 <sup>2</sup> 畜産草地研究所)
P89	ブナ帯下層植生にみられる野生植物の栄養成分 ○時田昇臣 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 日本獣医生命科学大学)